

新基地建設反対名護共同センターニュース

参院選は自民党政府と沖縄県民との闘い 「オール沖縄」の勝利へ 県民が一丸となり最終盤の大奮闘を！



イハ洋一参院選沖縄選挙区候補は県庁前県民広場で4日、街頭演説を開催。共産党志位和夫委員長や立憲民主党喜友名智子県連代表、社民党新垣邦男副党首、社大党高良鉄美委員長、にぬふあぶし翁長雄治幹事長、城間幹子那覇市長、沖縄県池田竹州副知事など「オール沖縄」代表が勢ぞろいし、大激戦、大接戦となっているイハ候補の勝利を訴えました。

志位委員長は「本土復帰50年の県民の3つの願いを伊波さんに託してほしい。第1は、辺野古新基地建設をやめさせ、平和で豊かな沖縄をつくる願い。第2は、沖縄を再び戦場にすることを平和の願い。第3は、物価高から暮らしを守る願いです」と訴えました。イハ氏は「相手候補は辺野古新基地推進、ミサイル基地建設のため、国を挙げて県民に挑んでいる。新基地ノーの民意をしっかりと示そう」と訴えました。

イハ候補も比例も大激戦、大接戦です

平和委員会が抗議船で視察

東京土建目黒支部とめぐろ平和委員会の沖縄ツアーの28人が5日、抗議船・平和丸に乗船し辺野古新基地現場を視察しました。参加したある女性は「テレビなどの報道で知っていたつもりでも、現場で自分の目で見ると違いますね。政府の違法な工事強行に怒りがわいてきました」と語っていました。また、ハマサンゴや渡り鳥のアジサシも目撃、「海の透明度が東京湾と全く違う」と驚いていました。



仲本船長（後方右）から説明を受ける、めぐろ平和委員会の人々

女性パワーでイハさんの勝利を！



ブルーアクション
島ぐるみ会議名護は2日、名護市内でブルーアクションを展開。稲嶺進元名護市長（写真左）はじめ多くの市民が参加しました。



いーなぐ会（名護市政を考える女性の会）は6月28日、「命どう宝! やんばる女性の集い」を名護市内で開き80人が参加（写真）。集いでは各分野の女性の代表が、「要求実現のためにイハさんを再び国会へ送りましょう」と明るく決意を表明。「女性パワーで伊波さんの勝利を必ず」と大きく盛り上がりました。

都高教退職者が座り込み

ゲート前で6月30日、約50人が座り込み。あるうちなんちゅが「基地や軍隊は住民を守らない。政治に求められるのは平和外交だ。参院選で伊波さんを勝利させ、基地のない平和な沖縄実現を」と訴えました。東京都の高教組退職者会の代表12人も座り込み連帯の挨拶をしました。



連帯の挨拶をする都高教退職者会の代表

へり基地反対協 イハ勝利へ宣伝行動



仲本氏（写真中央）はブログで「選挙の結果は世論調査で決まるものではない。県民の活動を通じて結果は決まるものである。傍観者をやめて担い手になろう。ウチナンチュウの心意気を沖縄選挙区でのイハさんの勝利でしめそう」と呼びかけています。

へり基地反対協議会は6月28日、名護市十字路で、参院選でイハ洋一候補の勝利めざす宣伝行動を12人の参加で行いました。仲本興真事務局長などが「イハ候補を必ず勝利させ、完成の見通しもない辺野古新基地建設を中止させましょう」と訴えました。